

げんき通信

C O L U M N

げんきコラム

夏でも手洗い&うがいを!
がらがら...



今年の春は新型インフルエンザの発生で薬局店頭からもマスクが消えました。今は騒ぎはだいぶ落ち着いてきましたが、ウイルスが消えた訳ではないので、引き続き予防は大切です。夏に流行するウイルス性の夏かぜや食中毒の予防も兼ねて、外出の後や食事の前には手洗いとうがいを続けてください。また、疲れがたまると抵抗力が落ちて、いろいろな感染を起こしやすくなるのでご注意ください。

処方せんはぜんぶ
「くほ薬局」に
おまかせください



すべての病院・医院の
処方せんを受けつけ
責任を持って調剤いたします。

みなさんは「ダメ。ゼッタイ。」普及運動をご存じですか?これは国連を中心とした国際的な活動で、青少年の薬物乱用を阻止するために1993年に始まりました。21世紀の世界からの薬物乱用根絶を願ったものですが、当初の目標であった2008年には実現できなかったため、現在は2019年を新しい目標にしています。日本でも有名人やスポーツ選手などの乱用が相次いで報じられ、最近では高校生や中学生まで低年齢化してきて、大きな問題になっています。

問題となる薬物としては大麻・覚せい剤・大麻(刻んで乾燥したものがマリファナ)・有機溶剤(シンナー)類などがあります。これらの薬物による悪影響は身体的・精神的なものだけではなく、社会的にも大きなものがあります。身体的影響は広く全身の臓器に現れて、食欲不振・血圧上昇・心臓発作・けいれん発作・生殖機能異常・平衡感覚障害などを引き起こします。精神的なものでは、妄想・幻覚・感情不安定・認知障害・依存性などがあり、重大な事態を引き起こす可能性があります。また、薬物乱用は犯罪と直結しているために、当事者だけではすま

されない重大な問題であり、いったん巻き込まれると取り返しのつかないことになり
ます。

甘い言葉やまちがった情報...

薬物乱用のきっかけとしては、若者の好奇心や仲間意識などがありますが、「気分がすっきりする」「やせられる」「元気が出る」などの甘い(誤った)言葉にのせられて、本当の危険性を知らずについ手を出してしまうというケースが多くあります。最初は、一度くらいなら大丈夫、という軽い気持ちで手を出し、やがてより強い薬を求めようになり、精神的・肉体的に依存症状が出て、

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の一環として、6月20日から7月19日までの1ヶ月間、「国連支援募金」が行なわれています。薬局店頭にも募金箱を設置していますので、機会がありましたらご協力をお願いします。



6月20日から7月19日までの1ヶ月間
「国連支援募金」が行なわれています。

ダメ。ゼッタイ。のお話

巻き込まれると
とりかえしのつかない
ことになります。



(木原店:薬剤師/えぐち)

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

くほ薬局

- 県庁通り店 ☎23-4550
- 中町店 ☎26-2817
- 木原店 ☎24-2233
- 中の小路店 ☎24-2882
- 西与賀店 ☎22-2311
- 医大通り店 ☎32-1133
- 北茂安店 ☎0942-89-1777